

この度、第 119 回あしぎん景況調査の結果がまとまりましたので、別紙の通り発表させていただきます。今回のポイント及び概要は下記の通りです。

記

1. 今回のポイント

企業の業況感は、製造業、非製造業ともに横ばいとなっている。

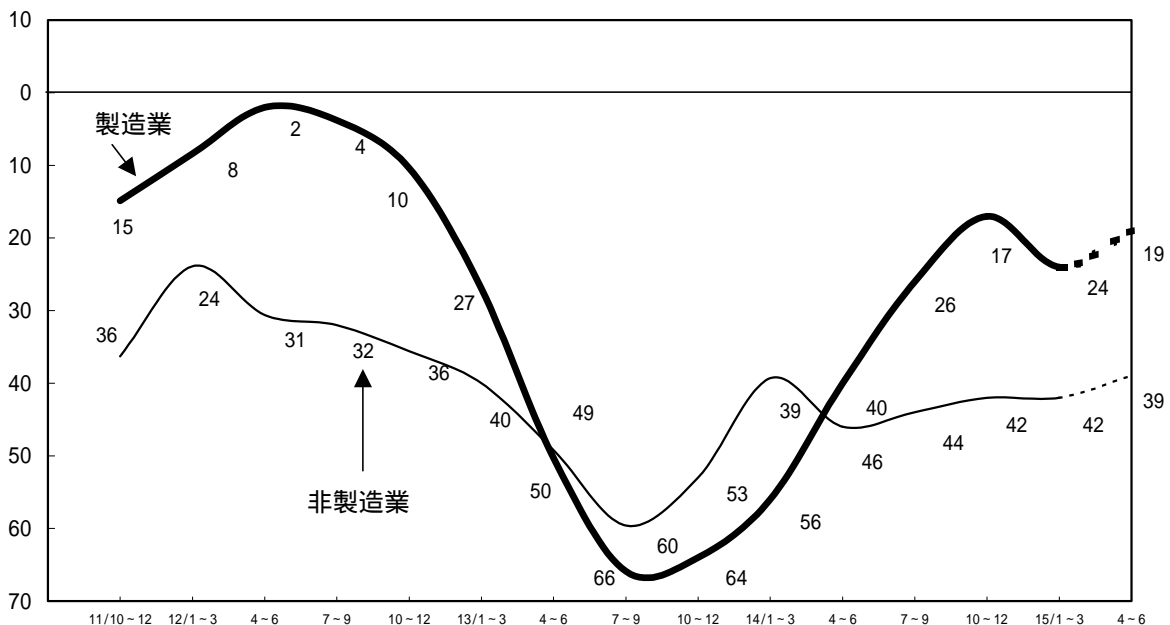
今期（15 年 1～3 月期）の業況判断 D.I. 値は、製造業が 24、非製造業が 42 となった。前期（14 年 10～12 月期）に比べ、製造業が 7 ポイントの悪化、非製造業は同ポイントとなった。

来期（15 年 4～6 月期）は、製造業が 19 と今期に比べ 5 ポイント、非製造業は 39 と 3 ポイントそれぞれ改善する見通しである。

製造業の業況判断 D.I. 値は 6 四半期ぶりの悪化となった。緊迫する国際政治情勢や低迷を続ける株価などにより、先行きに慎重な見方が広がっている。

一方、非製造業では、デフレ圧力が引き続き強く、全般的に足取りの重い展開となっている。

業況判断 D.I. 値



15/1～3は見込み、15/4～6は見通し

## 2. 概要

### (1) 製造業

今期実績見込み(15年1～3月期)

・業況	(業況判断D.I.値)	24	前期比	-7	ポイント	
・経常利益	(前年比増減D.I.値)	19	前期比	-10	ポイント	
	(水準D.I.値)	2	前期比	-11	ポイント	
・設備投資	(実施企業割合)	69 %	前期比	+	1	ポイント
	(投資額D.I.値)	13	前期比	+	12	ポイント
・雇用	(増減D.I.値)	24	前期比	-3	ポイント	
	(適正水準D.I.値)	17	前期比	+	6	ポイント

- ・経営上の問題点「競争激化」、次いで「需要減退」、「製・商品(サービス)単価の値下がり、値上げ難」の順となっている

来期見通し(15年4～6月期)

・業況	(業況判断D.I.値)	19	前期比	+	5	ポイント
・経常利益	(前年比増減D.I.値)	15	前期比	+	4	ポイント
	(水準D.I.値)	4	前期比	+	6	ポイント
・設備投資	(実施企業割合)	68 %	前期比		-1	ポイント
	(投資額D.I.値)	9	前期比		-4	ポイント
・雇用	(増減D.I.値)	12	前期比	+	12	ポイント
	(適正水準D.I.値)	14	前期比		-3	ポイント

### (2) 非製造業

今期実績見込み(15年1～3月期)

・業況	(業況判断D.I.値)	42	前期比	0	ポイント	
・経常利益	(前年比増減D.I.値)	33	前期比	-4	ポイント	
	(水準D.I.値)	7	前期比	-7	ポイント	
・設備投資	(実施企業割合)	53 %	前期比	+	5	ポイント
	(投資額D.I.値)	45	前期比	+	14	ポイント
・雇用	(増減D.I.値)	30	前期比	-3	ポイント	
	(適正水準D.I.値)	6	前期比	+	3	ポイント

- ・経営上の問題点「競争激化」、次いで「需要減退」、「製・商品(サービス)単価の値下がり、値上げ難」の順となっている

来期見通し(15年4～6月期)

・業況	(業況判断D.I.値)	39	前期比	+	3	ポイント
・経常利益	(前年比増減D.I.値)	30	前期比	+	3	ポイント
	(水準D.I.値)	3	前期比	+	4	ポイント
・設備投資	(実施企業割合)	46 %	前期比		-7	ポイント
	(投資額D.I.値)	32	前期比		-13	ポイント
・雇用	(増減D.I.値)	18	前期比	+	12	ポイント
	(適正水準D.I.値)	11	前期比	+	5	ポイント